



地域に密着したお店を通じ、サステナブルな社会をめざします

受賞にあたって

セブン-イレブンは1997年に岡山市で出店を開始。現在、市内では137店（2022年12月末）が営業しています。皆様にとって身近なお店であるだけでなく、社会の一員として責任を果たす必要があると考えています。環境問題についてはグループで策定している「GREEN CHALLENGE2050」に基づき、食品ロス・食品リサイクル対策、プラスチック対策などに加盟店様と一緒に取り組んでいます。



岡山市内75店舗にペットボトル回収機を設置し、限りある資源を有効に活用。



岡山地区事務所ではマニュアルを作成・掲示を行い、社員の意識改革を図り適正な分別につなげている。



岡山地区事務所所属の社員で定期的にフードドライブを実施し、社会福祉協議会を通じて子ども食堂等に寄贈。



岡山市の「てまえどり」協力事業者として、食品ロス削減の推進を実施。



岡山地区事務所の社員や加盟店オーナー様が笹ヶ瀬川下流の清掃活動に参加。



岡山ESD推進協議会・岡山市主催のSDGs海川フォーラム2022に参加し、海ゴミ問題やSDGsについての取り組みを紹介。



岡山市内の一部店舗で、植物由来（バイオマス）素材を30%配合したカトラリーをお客様に提供。



岡山市内の各店舗で、食品ロス削減に向け、エシカルプロジェクトを市内各店舗にて実施。



市内の店舗で排出された植物油は、岡山市と連携し、リサイクル業者に依頼し、バイオディーゼル燃料として活用。

今後の取り組みについて

これからも、お客様にとっての「近くて便利」な存在であるとともに、豊かな地球環境を未来世代につなぐため、店舗運営や商品開発などあらゆる面から環境負荷低減を進めてまいります。